

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年03月31日

計画の名称	主要駅における交通結節機能向上												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	東京都,千代田区												
計画の目標	<p>東京駅周辺地区は国内外等からの来客で賑わい首都東京の顔であるが、都市基盤の現状は、駅前広場や周辺道路において車両が輻輳し、歩行者空間も地上、地下ともに十分な整備水準とは言い難い状況にある。</p> <p>また、地区の中心である東京駅は、東西方向に約300mにわたり線路が敷設され、交通を分断しているにもかかわらず、自由通路は北側のみに設置されているに過ぎず、歩行者が回遊できる基盤が十分に整備されていない。</p> <p>御茶ノ水駅周辺地区は、教育機関や医療機関が数多く集まるとともに、歴史的施設や景観資源も有しており、文化的な「学園のまち」として発展し、駅前には商業、業務機能も集積している。</p> <p>一方で地域へのアクセス拠点となる御茶ノ水駅は多くの利用者と混雑しており、エレベータ設置などのバリアフリーへの対応も遅れている。さらにまちの玄関となる駅前広場などの歩行者空間も十分に確保されていない状況にある。</p> <p>そこで、主要各駅の交通結節機能の向上を図るため、東京駅において新たに南側に自由通路を整備し、御茶ノ水駅においてバリアフリー化と線路上の人工地盤設置による駅前広場の整備を行うものである。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	35,800	A	35,800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

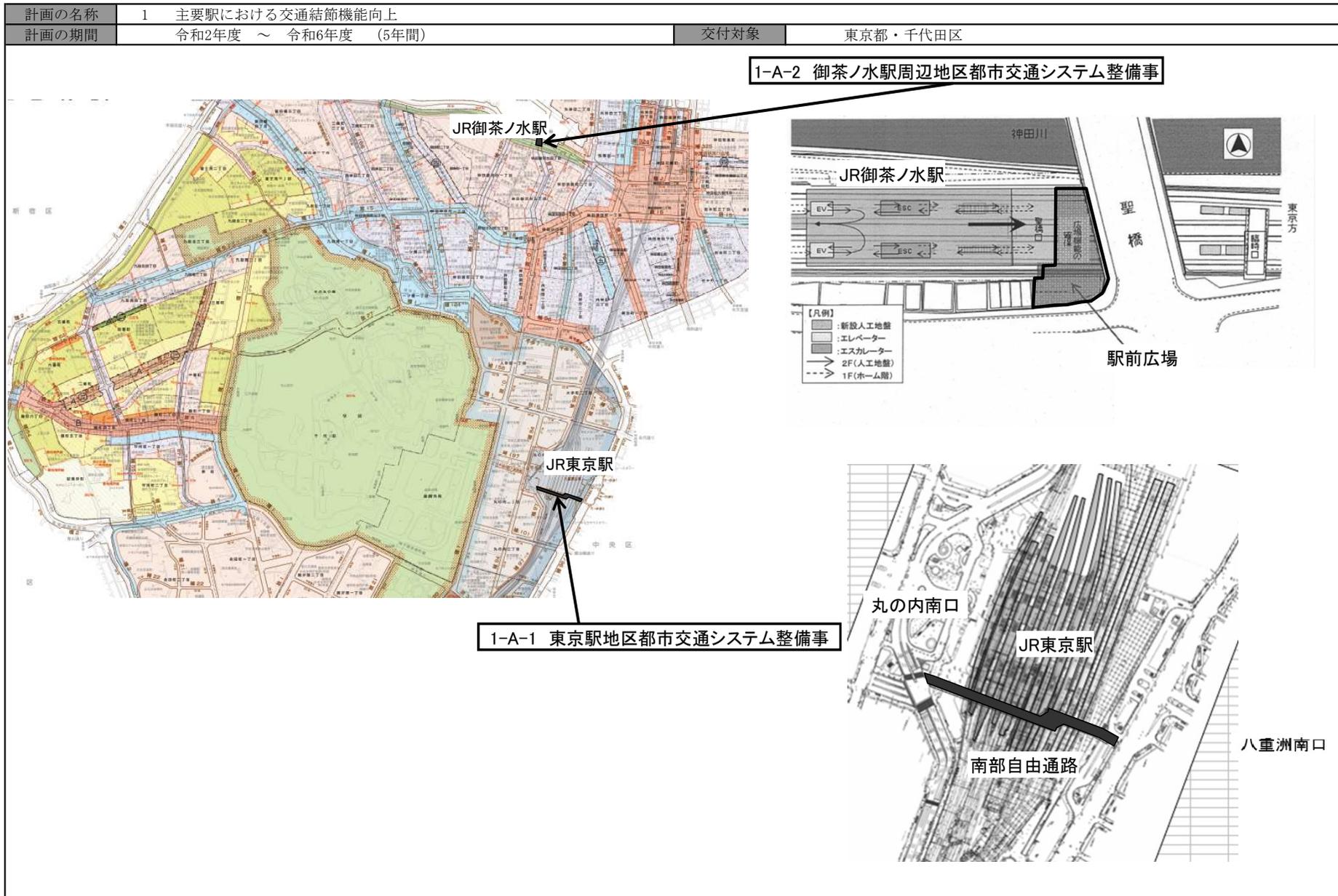
番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	事業完了時
1	東京駅丸の内南口付近から八重洲南口付近まで改札外を5分以内で行ける歩行者数の割合を現在の0%から100%にする。 東京駅丸の内南口付近から八重洲南口付近まで改札外を歩く場合、南部自由通路を経由する歩行者数の割合 南部自由通路を経由する歩行者数 / 丸の内南口付近から八重洲南口付近へ向かう歩行者数	0%	%	100%
2	御茶ノ水駅聖橋口のピーク時における歩行者密度を低減させ、ゆとりある駅前歩行空間を確保する。 御茶ノ水駅聖橋口駅前広場のピーク時における歩行者密度 1㎡あたり1分間の利用者数	4人	人	1人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	東京都	間接	東日本旅客 鉄道株式会 社	-	-	東京駅地区都市交通シス テム整備事業	自由通路 延長290m	千代田区						29,800		-
	A13-002	都市交通	一般	千代田区	間接	東日本旅客 鉄道株式会 社	-	-	御茶ノ水駅周辺地区都市 交通システム整備事業	駅前広場 約500㎡	千代田区						6,000		-
											小計						35,800		
											合計						35,800		

(参考図面) 市街地整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 主要駅における交通結節機能向上

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 各自治体の上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 社会資本整備重点計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が住民等にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高く実現可能性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等の中で、合意形成されていて実現可能性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 関係者と連携して計画を策定している。	○